

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～20℃台を示し、平年並みの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり26トンの水揚げで、前週の2.6倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで前週の80%（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げ（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり47kgの水揚げで、前週の31%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.4トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり6kgの水揚げで前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり161kgの水揚げで、前週の3.8倍（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり3.6トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり52kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり61kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり272kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/15～4/20の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚休漁。  
沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡周辺に出漁。  
鳥取県西部（沖合船）入港船なし。  
今期も山口沖が主漁場で前期より漁獲は僅かに増加した。  
（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-12号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」に掲載しています。  
長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>